



## たくさんの人が投票に 行くことを願って



青山美緒さん（下江黒・10歳）

「私の絵を見て、たくさんの人が投票に行くようになるといいな」と思いながら描きました」と言つ、青山さんの作品が「平成17年度明るい選挙啓発ポスターコンクール」で、都道府県選挙管理委員会連合会会長賞を受賞しました。

このコンクールは、今年で57回目を迎える大変歴史のあるコンクールで、選挙権を持つ前の全国の児童・生徒の政治や選挙への関心を高めることを目的に毎年行っています。今年度も明るい選挙をおすすめするうえで役立つ、独創的な内容のポスターが全国の小学校・中学校、そして高等学校から、13万点を超える応募がありました。

青山さんの作品は、町の選挙管理委員会の審査（第1次審査）をパスし、県の選挙管理委員会の審査（第2次審査）を経て、文部科学省・総務省・（財）明るい選挙推進委員会・都道府県選挙管理委員会連合会の各代表者による中央審査（第3次審査）で、都道府県選挙管理委員会連合会会長賞に選ばれました。

「お兄ちゃんが絵を習っていたので、私も習いたいなと思ひ、教室に入りました」と絵を習い始めたきつかけを話す青山さん。「私の絵が中央審査で大きい賞に選ばれたことは、お兄ちゃんの方が先に知っていて、私に教えてくれました。聞いた時は、とても驚いたけど、1か月一生懸命頑張つて描いた絵だったので、賞をもらえて本当にうれしかったです」と喜びを話してくれました。

「絵を描くのも好きだけど、今は、ミニバスケットボールをしたり、ピアノを弾くことがとても楽しいです。将来は、ピアノの先生になりたいと思っています」と話す青山さんは、笑顔のすてきな女の子です。

# みんなの声

このコーナーでは、皆さんからお寄せいただいた「町への手紙」や「町民の声（ご意見箱）」などの一部とその回答をみんなの声として掲載しています。なお、スペースの関係で質問の内容は一部簡略化させていただきました。

## Q 児童館を作つて欲しい

3歳の子どもを持つ主婦です。現在、子育て支援センターを利用しながら、自らも子育てサークルを作り、活動しています。今年からは、幼稚園へ入園する予定ですので子育て支援センターは使えません。外のお友だちとも遊ばせたいと思います。児童館を作つていただけませんか。

（川俣・女性）

## A 児童館と学童保育所として共用する形で開館しています

現在使用している児童館は、平成12年4月に場所を東小学校の南側（旧東保育

園）に移し、東部児童館と東部学童保育所として共用する形で開館しております。今は学童保育所としての使用が主になっているため、平日の午後2時ごろの開館としております。児童館としては、今まで需要が少なかったこともあり、午前中は開けていない訳ですが、今後そうした要望等が多くなれば、午前中からの開館も含め、いろいろなかたが利用できるよう検討していきたいと思ひます。

また、新たな児童館の整備につきましても、財政面も視野に入れて考えていかなければなりませんので、現在は未定となっております。今後の要望等を踏まえ対処していきたいと思ひます。

（保健福祉課）